

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2015年6月6日から2015年10月18日まで

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

51名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

OSAKA INNOVATION HUB

一般社団法人ナレッジキャピタル

グランフロント大阪ナレッジキャピタルナレッジシアター

弁護士法人飛翔法律事務所

公益財団法人 太平洋人材交流センター (PREX)

宗教法人住吉大社住吉大社

公益財団法人山本能楽堂

高野山真言宗教学課

社会イノベーター公志園

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

国立大学法人大阪大学大学院工学研究科

宗教法人勝尾寺

なにわ淀川花火大会運営委員会

桂紅雀 (落語家)

ATR社会メディア総合研究

特定非営利活動法人ホームドア

NPO法人ノーベル

シンクタンク・ソフィアバンク

大阪市経済戦略局

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

793,750 US \$

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

NONE

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

25才から40才までの志ある青年経済人

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

大阪 JC は、公に尽くす心意気を胸に抱き、大阪から変革を巻き起こし、日本そして世界の変革の中核となるグローバルリーダーを育成することを目的とした。

- ①「感性」・・・都市を創り上げてきた先人たちの精神
- ②「俯瞰的な視野」・・・変化していく世界情勢を大局的に捉える力
- ③「発想力」・・・現状を力強く打破していく発想力
- ④「行動力」・・・理想の未来を自らが創造する行動力。
- ⑤「フロンティアスピリット」・・・社会に変革を起こす公に尽くす精神

大阪 JC は、青年にこの5つの力を身に付ける機会を提供し、青年が社会をより良く変化させる「志」を実現することを目指しました。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

大阪 JC は様々な成長の機会を都市に住み暮らす青年に提供し、社会により良い変化をもたらす力を身に付けてもらい、都市のみならず、国家、世界を変革し得るグローバルリーダーを育成するために「大阪変革塾」を開塾しました。

大阪 JC はグローバルリーダーに必要な能力を5つに分け、それぞれの能力が総合的に身に付けることが、グローバルリーダーを育成すると考え、事業を構築しました。

【塾頭】

塾生を育成指導する塾頭として、田坂広志氏をお招きしました。
田坂広志氏プロフィールは添付資料を参照してください。

【事業概要】

大阪 JC は前項の事業目的①～⑤を達成するために、5つのテーマに分けて事業を実施しました。

各回は4つのパートに分かれています。

1. 座学
2. グループワーク
3. フィールドワーク
4. 実践的にビジネスプランを考案

①「感性」を身に付ける機会を提供

大阪 JC は、時代の変革者たちを育んできた大阪の文化や先人たちの業績から、偉大な先人たちの感性を学ぶ機会を提供しました。

(2日間+フィールドワーク)

- 1日目 座学 210分・グループワーク 300分・宿泊
- 2日目 座学 240分・グループワーク 120分・ビジネスプラン考案 120分
- 別日 フィールドワーク終日

②「俯瞰的な視野」を身に付ける機会を提供

大阪 JC は急速なグローバル化による国際関係の変化の中で点在している様々な事象が社会に起こす影響をそれぞれの関連性や時間軸から分析する機会を提供しました。(1日間+フィールドワーク)

- 座学 225分・グループワーク 120分・ビジネスプラン考案 120分
- フィールドワーク (終日・別日)

③イノベーションを起こす「発想力」を身に付ける機会を提供

大阪 JC は都市の新たな可能性について多種多様な背景をもった人びとと共に、既存の概念に留まることなく様々な観点から検討する機会を提供しました。(1日間+フィールドワーク)

■座学 225 分・グループワーク 120 分・ビジネスプラン考案 120 分

■フィールドワーク (終日・別日)

④「行動力」を身に付ける機会を提供

大阪 JC は目指すべき未来の都市について、具体的な目標を明確に思い描いていく機会を提供しました。(1日間+フィールドワーク)

■座学 225 分・グループワーク 120 分・ビジネスプラン考案 120 分

■フィールドワーク (終日・別日)

⑤「フロンティアスピリット」を身に付ける機会を提供

大阪 JC は、塾生たちが仲間と共に考えた、都市をより良く変えていくビジョンと、それを実現するビジネスプランを大衆の前で発表する機会を提供しました。

■フィールドワーク (終日)

■ビジネスプラン・プレゼンテーション

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

塾生を対象に各カリキュラム終了時にアンケート調査を実施し、上記目的部分の①から⑤の達成度合い・成長度合いを自己チェックしてもらい、集計し検証を行った。

また大阪変革塾受講前・受講後に同様のアンケート調査で自己チェックしてもらい、意識の向上が見られたか検証を行った。

【詳細】

①感性

約 88%の塾生が「感性」がグローバルリーダーの資質に必要であると理解できたと回答した。

②俯瞰的な視点

約 85%の塾生が「俯瞰的な視点」がグローバルリーダーの資質として重要であると理解できたと回答した。

③イノベーションを起こす発想力

約 81%の塾生がグローバルリーダーとして発想力を養うことのためにすべきことがとても明確になったと回答した。

④行動力

約 89%の塾生が、自らが主体となって社会問題の解決のため行動することの重要性についてよく理解できたと回答した。

⑤フロンティアスピリット

約 80%の塾生が、グローバルリーダーとしてフロンティアスピリットをもって今後、活動していきたいと回答した。

全カリキュラム終了後にアンケートを実施

94%の塾生が、社会をより良く変革する「志」がより強くなったと回答した。

【問題点】

カリキュラムが非常に厳しい内容だったため、100 人いた塾生のうち、大阪 JC が卒業と認められる人数は 54 人しかいなかった。しかしこの結果は大阪 JC の事業開始前からの予想の範囲を越えない人数だったので大きな問題ではありません。精鋭の優秀な 54 人のグローバルリーダーを育成することができたと考えています。

Actions Taken 行動

説明：

(1) 塾生募集

募集期間：2015 年 4 月 30 日～2015 年 5 月 23 日

選考期間：2015 年 5 月 24 日～2015 年 6 月 1 日

大阪 JC は「大阪変革塾」を開催するにあたって、25 歳～40 歳までの変革の志をもった青年を塾生として募集した。

【募集方法】

SNS、HP、ポスター、チラシ、新聞広告を活用して募集活動を行った。

【選考】

募集の結果、122人の応募があった。大阪JCは100人を上限として事業を予定していたため、選考を行った。応募者に大阪の偉人の功績とその感性について小論文を提出して頂いた。大阪JCはメンバー全員で小論文を採点し、100人の塾生を選考しました。

(2) 事業プログラム

大阪JCはグローバルリーダーに必要な能力を5つに分け、それぞれの能力が総合的に身に付けることが、グローバルリーダーを育成すると考え、事業プログラムを構築しました。

※各プログラムの講師のプロフィールは別添の資料を参照してください。

プログラム期間：2016年6月6日～2015年10月18日

①感性

大阪JCは塾生に事業①を通じて、グローバルリーダーに必要な感性を身に付ける機会を提供しました。

■6月6日(土)

- ・グローバルリーダーについて映像学習
- ・講演(講師：田坂広志)
グローバルリーダーが持つべき「志」について講演
(※田坂氏のプロフィールについてはOVERVIEWを参照)
- ・ヤンググローバルリーダーによるパネルディスカッション
既に活躍しているグローバルリーダーの経験からリーダーとしての感性の大切さを知ってもらった。
- ・グループワーク
塾生同士で変革の志を磨き合うグループワーク

■6月7日(日)

- ・講演(講師：橋爪紳也)
大阪の都市の歴史、今後の展望について講演。海外の事例などを踏まえながら行政、ビジネスの両方の立場に立って説明し、塾生に先人の感性を学び、それを未来に活かすことを学ぶ機会を提供

・ビジネスプラン作成①

大阪の都市をより良く変えるビジネスプラン構築についてグループワーク形式で学ぶ機会を提供しました。

■8月22日（土）フィールドワーク

伝統芸能である落語のなかの話し方や感性を学び、大阪特有の感性を自覚してもらう機会を提供しました。

■9月12日（日）フィールドワーク

もっとも歴史のあるお寺のひとつである高野山にて瞑想と写経を体験。自分を見つめ直すことで志を高め、リーダーとしての感性を高める機会を提供しました。

②俯瞰的な視点

大阪 JC は塾生に事業①を通じて、グローバルリーダーに必要な俯瞰的な視点を身に付ける機会を提供しました。

■6月21日（日）

・講演（講師：中沢孝夫）

中沢氏に中小企業のグローバル化について講演して頂き、塾生にグローバルな視点から俯瞰的にビジネスを行う大切さを学ぶ機会を提供しました。

・講演（講師：谷田大輔）

ビジネスの世界におけるグローバルリーダーに必要な能力、リーダーとしての心構えを学ぶ機会を提供しました。

・グループワーク

塾生が俯瞰的な視点を身に付けるために社会の事象を大局的に捉えるトレーニングとしてグループワークを行った。

・ビジネスプラン作成②

前回のビジネスプラン作成①より引き続いて、大阪の都市をより良く変えるビジネスプラン構築についてグループワーク形式で学ぶ機会を提供しました。

■8月5日（水）フィールドワーク

外国人交流プログラム（海外グローバルリーダーとディスカッション）
海外のグローバルリーダーとリーダーに必要な能力についてディスカッションを行い、その経験から俯瞰的な視野で物事を捉える能力を身に付ける機会を提供しました。

③発想力

大阪 JC は塾生に事業③を通じて、グローバルリーダーに必要なイノベーションを起こす発想力を身に付ける機会を提供しました。

■7月26日（日）

・講演（森勇介）

機能性有機結晶の育成技術開発で最先端科学においてイノベーションを起こしてきた森氏の研究と経験をご講演いただき、イノベーションを起こすために必要な心構えや努力について学ぶ機会を提供しました。

・講演（講師：萩田紀博氏）

ビジネスに活用されている最先端のロボット工学を紹介していただき、先端技術が、新たなビジネスを生む発想力となることを学ぶ機会を提供しました。

・グループワーク

塾生がイノベーションを起こす発想力を身に付けるために、多種多様な背景をもった人びとと都市の新たな可能性について、様々な観点から検討するグループワークを行った。

・ビジネスプラン作成③

前回のビジネスプラン作成②より引き続いて、大阪の都市をより良く変えるビジネスプラン構築についてグループワーク形式で学ぶ機会を提供しました。

■9月6日（日）

・フィールドワーク

日本の伝統芸能である能楽体験を山本能楽堂で行いました。新たな発想で伝統芸能でありながらイノベーションを起こしてきた芸能を体験して頂き、発想力を身に付ける機会を提供しました。

④行動力

■8月30日（日）

大阪 JC は塾生に事業④を通じて、グローバルリーダーに行動力を身に付ける機会を提供しました。

・講演（講師：五島洋）

多くのアントレプレナーの起業に携わった経験から、リスクヘッジをしながらも大胆に行動することの大切さを講演頂き、行動力について学ぶ機会を提供しました。

・講演（川口加奈・高亜季）

社会起業家の二人から、自身の行動力で社会を変革してきた経験を講演いただき、社会変革には行動力が必要であることを学ぶ機会を提供しました。

・グループワーク

塾生が行動力を身に付けるために、目指すべき未来の都市について、具体的な目標を明確に思い描いていくグループワークを行った。

・ビジネスプラン作成④

前回のビジネスプラン作成③より引き続いて、大阪の都市をより良く変えるビジネスプラン構築についてグループワーク形式で学ぶ機会を提供しました。

■8月1日（土）

・フィールドワーク

住吉大社にて住吉祭りという地元の祭りに参加。

大阪 JC は塾生に祭りを作った先人たちの想いや郷土愛を表現する、その経験から行動力を学んで頂きました。

■10月10日（土）

・フィールドワーク

関西イノベーター公志園において、多くの社会起業家の行動力を学びました。

⑤フロンティアスピリット

大阪 JC は塾生に事業⑤を通じて、グローバルリーダーにフロンティアスピリットを身に付ける機会を提供しました。

■10月2日（金）

大阪 JC は塾生がこれまでの事業で構築してきたビジネスプランを発表する機会を提供しました。塾生は社会を変革するビジョンと、それを実現するためのビジネスプランを発表しました。

ナレッジシアターに 300 人以上の大阪市民が塾生のビジネスプランを聞くためだけに集まりました。

審査員として、大阪市経済戦略局の理事、塾頭の田坂広志、五島洋氏、大阪イノベーションハブの職員をお招きして、理事長と共に審査しました。

■10月18日（日）

・講演（田坂広志）

大阪 JC は事業の締めくくりとして、塾頭の田坂広志に講演を頂き、都市のみでなく、日本、世界の変革の中核となるグローバルリーダーとしての自覚と覚悟をもってもらう機会を提供しました。

■8月8日（土）、8月9日（日）フィールドワーク

塾生に淀川花火大会にてボランティア活動をして頂きました。自らの行動で都市を変えていく経験からフロンティアスピリットを身に付ける機会を提供しました。

■2016年6月6日～2015年10月18日

大阪 JC は塾生に向けビジネスプラン作成のために数多くのホームワーク・課題を与えました。また大阪 JC は塾生たちがホームワークを各グループで行うために適切な会場、ファシリテーターを提供しました。

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

【達成できた目的】

・大阪 JC は 100 名の塾生を集めて、多くの成長の機会を与えた。大阪 JC は彼らのうち 54 名を卒業と認定した。よって大阪 JC は事業を通じて多くのグローバルリーダーを育成することができた。

・卒業した塾生は今後、自分たちの会社やコミュニティに戻り、グローバルリーダーとして活躍することが予想できます。彼らは自分たちのコミュニティでリーダーとして主導的に社会を変革する運動を展開していきま

す。

【問題点】

カリキュラムが非常に厳しい内容だったため、100 人いた塾生のうち、大阪 JC が卒業と認められる人数は 54 人しかいなかった。しかしこの結果は事業開始前からの予想の範囲を越えない人数だったので大きな問題ではありません。

ページ 3

Objectives, Planning, Finance and Execution

目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？ ※200 語まで

大阪 JC は、より良い社会へと変革する力を地域の青年に与えるために、発展成長の機会を提供することを目的として事業を行いました。

大阪 JC は地域の青年をグローバルリーダーへと成長させるために「感性」、「俯瞰的な視野」、「発想力」、「行動力」、「フロンティアスピリット」の5つのスキル向上を目指して事業を行いました。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？ ※200 語まで

・この事業はより良い変化をもたらす力を青年に与えるため、多くの成長の機会を与えるプログラムです。

・この事業は行政、企業、大学、各種団体など多くのステークホルダーの協力で作られました。利害関係者が関わる協同的解決策が必要であるとしている JCI アクションプランに沿ったプログラムです。

Was the budget an effective guide for the financial management of the

project?

予算は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか? ※150語まで

- 1・行政の連携により大部分の会場を無料で開催することができた。
- 2・6 か月間の長期に渡る事業でしたが適切に予算計上を行っていたので大きな問題が発生することはありませんでした。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業はJCIのミッションとヴィジョンを推進しましたか?

※200語まで

JCI MISSION :

・グローバルリーダーを育成する、この事業は正しくより良い変化をもたらす力を青年に与えるため、多くの発展・成長の機会を与えるプログラムです。

JCI VISION:

・JCI 大阪は多くの能動的なリーダーを育成するプログラムを実施し、さらに卒業生のネットワークを作ることで、ネットワークの中核的役割を担っています。

※画像4つ必要



25才から40才までの青年100人を対象に公に尽くす心意気を胸に抱き、大阪から変革を巻き起こし、日本そして世界の
変革の中核となるグローバルリーダーを育成することを目的として大阪変革塾を開催しました。写真は塾頭の田坂広志氏。全体の監修と講演等を行い塾生の育成指導して頂く。



座学では5回のクールごとに講師の方をお招きして講師講演をいただき「感性」「俯瞰的な視野」「発想力」「行動力」「フロンティアスピリット」5つの力を磨きました。またグループワークを通じて、それぞれの能力が総合的に身に付けグローバルリーダーとしての育成を行いました。



座学のみでなく各クールの間で、感性を高めるためフィールドワークを行いました（全6回）各プログラムの体験談を塾生全員に向かってプレゼンをすることにより、全員にその効果を共有しました。写真は其中之一つ、世界遺産でもある高野山にて法話・瞑想・写経を体験し感性を磨きました。



ページ 4

Membership Participation 会員の参加

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは何人？ ※ 2 語まで

51 名

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は？ ※ 1 語まで

15%

Describe the main roles of the participating members in this program.

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

い ※300語まで

【事業スキームの構築】

1. 事業全体の企画立案
2. 講師の選定
3. 行政、企業、各種団体、大学への協力依頼
4. 現地調査

【塾生募集】

1. チラシポスターの作成及び配布
2. ホームページ、SNS での塾生募集

【塾生選考】

1. 小論文の採点

【プログラム実施】

1. 会場の設営
2. ファシリテーター

【ホームワーク】

1. 会場の設営
2. ファシリテーター

※画像4つ必要



25歳～40歳までの変革の志をもった青年を塾生として募集しました。チラシポスターの作成及び配布、ホームページ、SNSでの塾生募集結果122名の申し込みがありました。申込者には小論文を提出してもらい選考後、100名の塾生に入塾してもらいました。



時間・配置などのシュミレーションを実際現場でおこなうことによっておおきな問題なくプログラムを推進できました。写真は公開プレゼンテーションを開催するナレッジシアターでの現地調査です。



フィールドワークでも運営スタッフが、どのプログラムにおいても事前に実体験することによりシュミレーションを行いました。結果よりの確な運営マニュアルを作成することが出来ました。写真は住吉大社祭りの講習会です。



運営スタッフが各プログラムやホームワークまでファシリテーターとして入りアドバイスすることによりプログラムを円滑に運営することが出来ました。

ページ5

Skills Developed 習得された技術・能力

What skills were developed in this program?

どんな技術・能力が、このプログラムで習得されましたか？ ※150語まで

塾生は以下の能力を総合的に身に付けることができました。

- ①「感性」・・・都市を創り上げてきた先人たちの精神
- ②「俯瞰的な視野」・・・変化していく世界情勢を大局的に捉える力
- ③「発想力」・・・現状を力強く打破していく発想力
- ④「行動力」・・・理想の未来を自らが創造する行動力。
- ⑤「フロンティアスピリット」・・・社会に変革を起こす公に尽くす精神

How were these skills developed? Describe the methods and activities used

これらの技術・能力はどのように習得されましたか？用いられた手法と活動を記述してください ※300語まで・2015年から変更

大阪 JC は塾生に前項の能力を身に付ける機会を下記の内容にて実施しました。

1. 座学

大阪 JC は様々な分野の一流の人物に講師を依頼しました。講師は自らの経験や学問を踏まえて講義を行い、塾生は効果的に能力を身に付けることができました。

2. グループワーク

大阪 JC は塾生をグループに分けました。そのグループは座学で学んだことを礎に、与えられたテーマに沿って、協議・発表を行いました。

3. フィールドワーク

塾生は座学、協議だけでは学べない実践的な内容をフィールドワークにて学びました。大阪 JC は様々な団体に協力を依頼して、塾生に多くの経験を提供しました。

4. 実践的にビジネスプランを考案

塾生は1 - 3 で学んだことを活かして、大阪を変革するビジネスプランを構築しました。

※画像 4 つ必要

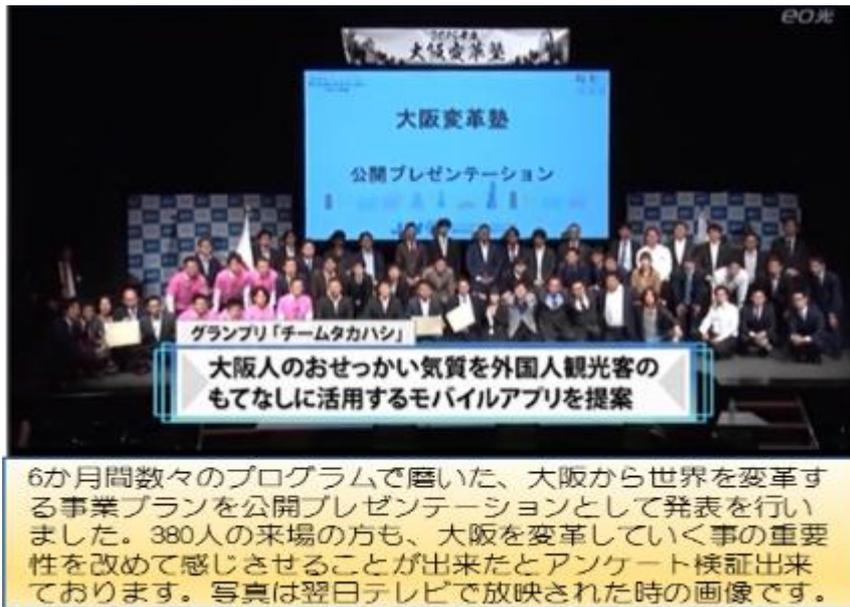




グループワークでは塾生100人を10グループに分け、座学で学んだことを礎に、与えられたテーマに沿って、協議・発表を毎回おこないました。前にでて皆の前でプレゼンテーションすることもスキルを上げる機会になりました。



塾生は座学以外にもフィールドワークを行い、落語体験や高野山にて感性を、外国人交流プログラムで俯瞰的な視野を、能楽体験で発想力を、住吉祭りや関西イノベーター公園で行動力を磨くことが出来ました。



ページ 6

Impact on Participants 参加者への影響

What was the intended impact on the participants?

参加者への意図された影響は、何でしたか？ ※150語まで

大阪 JC は参加者が大阪だけでなく国家、世界をより良い社会へと変革し得る能力を持ったグローバルリーダーへと成長することを意図していた。

Describe the actual impact on the participants.

参加者への実際の影響を記述してください。 ※300語まで

参加者のうちで行動へと顕れた例を紹介します。

1. 事業の経験を活かして、社会貢献できる会社を設立した。
2. USA のシリコンバレーに活動拠点を移し、新たな会社を設立した。
3. 社会貢献活動を行うために、翌年より大阪 JC に所属した。
4. 地域コミュニティへの貢献のために、地域の「祭り」に参加するようになった。
5. 社業をより大きく伸ばすために、新たな国家資格取得に向け挑戦を始め

た。

6. 自らが主宰者となって地域のために活動する組織を立ち上げた。

その他、参加者それぞれに影響がありました。参加者は自分たちの所属するコミュニティでグローバルリーダーとして、またグローバルリーダーになるために、意識変革をして、何らかの行動を起こしています。

※画像4つ必要



塾生の中には事業の経験を活かして社会貢献できる会社を設立したり、USAのシリコンバレーに活動拠点を移し新たな会社を設立した方もおります。写真は卒塾式の時のものです。リーダーとしての風格が備わったスタッフも感じております。



講演内容やフィールドワークでも参加した住吉大社のお祭りに感化された事もあり、地域コミュニティへの貢献のために、様々地域の「祭り」に参加するようになりました。



プログラムを通じて感化され、また私たち運営スタッフにも刺激を受けて、社会貢献活動を行うために、翌年より大阪青年会議所に入会した塾生もいます。写真は大阪青年会議所2016年度入会式のものです。



塾生の中には、社業をより大きく伸ばすために、新たな国家資格取得に向け挑戦を始めた方や、自らが主宰者となって地域のために活動する組織を立ち上げました。また卒業後も大阪変革塾同窓会を定期的を開催し、塾生同士で近況報告を行いあいます。

ページ 7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？ ※200語まで

参加者それぞれが所属するコミュニティのなかでグローバルリーダーとして行動を始めています。彼らが市民に影響を及ぼし、地域にアクティブ・シティズンが増えていくことが期待されます。またビジネス能力も高まっている彼らがグローバルな経済活動を行うことで地域経済の活性化が期待されます。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

※300語まで

大阪 JC はこの事業を通じて育成されたグローバルリーダーと大阪 JC を中心としたコンソーシアムを創っていくことが必要です。そのコンソーシアムが出来れば、大阪 JC は、今回よりも多くの企業や研究機関、行政機関と協力関係を強固にし、社会の様々な分野における利害関係者が関わる協同的解決策を継続的に提示し続けることが出来ると考えています。

※画像 4 つ必要



今回、会場提供や講師の紹介などでも共催いただいた大阪市戦略局が母体の大阪イノベーションハブ。コンソーシアムすることによって協力関係を得ることが出来ました。会場を事業を通じて無料で利用できたことは、事業目的に照らしても非常に有効です。写真の人物はイノベーションハブの中川氏です。公開プレゼンテーションの審査委員としても協力いただきました。



またグランフロント大阪内にある、ナレッジ・サロンより協力名義を頂き、各クールの間の塾生ミーティングを開催する場として利用できたことも事業目的に照らしても非常に有効的でありました。募集チラシ・ポスターの設置や公開プレゼンテーション会場も紹介いただきました。



太平洋人材交流センター（PREX）と協力しモンゴルの研修生を紹介いただきました。海外のグローバルリーダーとリーダーに必要な能力についてディスカッションを行い、仕事上の課題やリーダーシップについてグループワークの内容を発表しました。言葉の壁を乗り越えリーダーシップやマネジメントについての共通点や相違点がわかり、日本にいてだけでは得ることができない俯瞰的な視点を学ぶことが出来ました。



今回の大阪変革塾でいろいろな団体や海外の方との協力関係も得ることが出来た。今後、ビジネスを通じてでも生かされていきます。塾生たちは公に尽くす心意気を胸に抱き、大阪から変革を巻き起こし、日本そして世界の変革の中核となるグローバルリーダーになっていくことでしょう。